

食育推進室の設置を

みどりの会 川崎 修



質問 ↓来年度からの本格的な取り組みのために、食育推進室の設置を。

答弁 ↓今後の組織機構の見直しの中で、実効性ある体制を検討していきたい。
質問 ↓メタボリックシンドローム対策で

個人指導が義務付けられるが、現在の職員で対応できるのか。

答弁 ↓平成二十年度から大幅な改革が予定されている。適正な職員の配置体制づくりに向け検討を進める。

質問 ↓水田農業推進協議会のあり方は。

答弁 ↓農協単位にすべきと考えている。

質問 ↓農業の共同事業での事務処理に、組織への育成支援が必要ではないか。

答弁 ↓適切な支援が必要と考えている。

質問 ↓環境保全向上対策事業で、なぜ中山間交付金事業取り組み地区を、国の方針と異なり除外するのか。市長に再考を強く要求する。

理解できない職員採用試験

津山再生クラブ 河本英敏



質問 ↓市職員採用試験はより広く開かれ公平であるべきだが市の試験区分では「高校卒業程度」と「大学卒業」が必要となっているがなぜか。身近

な県では高校、大学ともに卒業程度となっていて市と比べ採用要件が緩和されている。県民も市民も同じ住民。受験する側からすると、大学の中途退学者は二十一歳を過ぎれば「大学卒業」も「高卒程度」も受験できない。社会で独学し挑戦しようとする人に知識、見識に差があるというのはおかしい。

答弁 ↓県と比べ、専門性より幅広い業務に対処できる人材の確保に主眼を置いている。大学卒業により身につくレベルの知識、見識を持っているとして大卒資格の要件としている。

道路特定財源の一般財源化に地方から反対を

政津クラブ 高橋 誠



質問 ↓現在進めている道路事業は、交付金、補助金の削減と道路特定財源の一般財源化によっては事業に変更が考えられるがどうか。岡山県とJR西日本が来年度予定している「デス

ティネーションキャンペーン」観光事業計画の内容はどのようなものか。

答弁 ↓現時点影響は無いが厳しい状況。一般財源化には強く反対し財源確保に努める。都市計画道路「総社川崎線」の完成年度は平成二十年度買収率は九十七％。川崎八出線の完成年度は平成二十一年度買収率は九十六％である。河辺高野山西線の期成会

は両地区それぞれ立ち上げを想定している。美作県民局、JR西日本津山鉄道部、津山市を中心に協議体を早急に立ち上げJR津山駅機関庫庫車台等の見学ツアーの実施を計画している。

市民の生涯学習と道路整備

新風会 庄司勝義



質問 ↓健康増進の課題、問題、計画。社会保険センターの継続利用可能か。
答弁 ↓第四次総合計画で検討課題とする。社会保険センターは公共ゾーンの一

部としてさまざまな利用が可能な活用方法を決定したい。

質問 ↓道路整備と踏み切り道拡幅について。

答弁 ↓国道一八一号、中須賀、院庄交差点の拡幅は平成十九年度、測量設計する。総社川崎線は林田川崎間を二十年度に完了させ、残区間も早期に着手したい。県道押淵、皿線の種地域の延長三百mの区間は平成十九年度から用地取得していくとの県からの話。久米地区の福本踏切、八幡様（宮尾）踏切は平成十三年の通知をもとに踏切道調整連絡会議の岡山県分科会でJRと交渉する。